

2019年11月20日 全7頁

Indicators Update

2019年10月貿易統計

輸入の大幅減で貿易収支は4ヶ月ぶりに黒字転換

経済調査部

エコノミスト 鈴木 雄大郎

シニアエコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 10月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲9.2%と11ヶ月連続で減少し、コンセンサス（同▲7.5%）を下回った。輸入金額は同▲14.8%と大幅に減少し、その結果貿易収支は173億円と4ヶ月ぶりの黒字となった。
- 前年比で見た輸入金額の大幅減は消費増税による駆け込み需要の反動減、大型の台風19号の影響があったとみられる。加えて、2018年は9月に台風21号の影響で関西国際空港が閉鎖され、10月はその反動で大幅に増加した。今年はその裏の影響が出たことも押し下げの要因となった。
- 先行きの輸出数量は、地域ごとに濃淡はあるものの、総じてみると世界経済減速の影響を受けて力強さを欠く動きが続くとみている。ただし、これまでの減少基調から下げ止まりの兆しが見え始めている。アジア向けは低水準の推移が続くも、これまでの減少基調から下げ止まるとみている。EU向けでは自動車輸出が全体を下支えするものの減少基調が続くだろう。他方、米国向けは横ばい圏で推移するだろう。

図表1：貿易統計の概況

		2019年									
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
原系列 前年比 %	輸出金額	▲1.2	▲2.4	▲2.4	▲7.8	▲6.6	▲1.5	▲8.2	▲5.2	▲9.2	
	コンセンサス									▲7.5	
	DIRエコノミスト予想									▲8.6	
	輸入金額	▲6.5	1.2	6.5	▲1.4	▲5.2	▲1.1	▲11.9	▲1.5	▲14.8	
	輸出数量	▲0.6	▲5.6	▲4.3	▲8.9	▲5.5	1.6	▲6.0	▲2.3	▲4.4	
	価格	▲0.6	3.4	2.0	1.2	▲1.2	▲3.1	▲2.4	▲2.9	▲5.0	
	輸入数量	▲6.5	0.4	4.1	▲1.2	▲3.2	6.7	▲6.1	6.8	▲6.1	
価格	▲0.0	0.8	2.3	▲0.2	▲2.0	▲7.3	▲6.2	▲7.8	▲9.3		
	貿易収支(億円)	3,316	5,227	535	▲9,702	5,875	▲2,523	▲1,457	▲1,248	173	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	6.4	▲1.2	0.1	▲5.0	5.0	▲0.4	▲2.7	1.4	▲1.7	
	数量	6.0	▲1.9	2.6	▲7.7	5.8	1.5	▲4.5	▲0.5	1.8	
	価格	0.4	0.7	▲2.5	2.9	▲0.7	▲1.8	1.8	2.0	▲3.5	
	輸入金額	1.3	2.1	▲0.6	0.6	▲2.8	1.2	▲3.0	0.9	▲2.2	
	数量	▲2.0	1.4	1.9	3.1	▲6.9	7.8	▲5.3	2.1	▲1.9	
	価格	3.4	0.7	▲2.5	▲2.4	4.4	▲6.2	2.4	▲1.2	▲0.2	
		貿易収支(億円)	131	▲2,008	▲1,510	▲5,206	▲187	▲1,204	▲991	▲643	▲347
	税関長公示レート	109.66	111.16	111.18	111.07	109.05	108.00	107.21	106.69	107.77	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

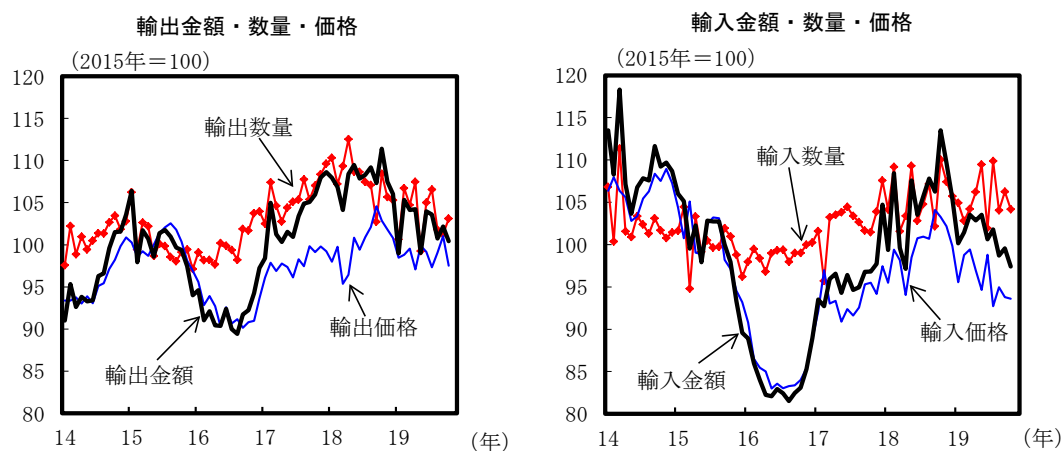
【貿易金額】 輸入の急減で貿易収支は黒字転換

10月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲9.2%と11ヶ月連続で減少し、コンセンサス(同▲7.5%)を下回った。輸入金額は同▲14.8%と大幅に減少し、その結果貿易収支は173億円と4ヶ月ぶりの黒字となった。10月の輸出金額の減少には台風19号の影響で港湾施設が被災したことや、工場の稼働が停止し、生産が出来なかったことも含まれている点には留意する必要がある。

前年比で見た輸入金額の大幅減は、消費増税による駆け込み需要の反動減、大型の台風19号の影響があったとみられる。加えて、2018年は9月に台風21号の影響で輸入金額の約5%を占める関西国際空港が閉鎖され、10月はその反動で大幅に増加した。今年はその裏の影響があったことも前年比変化率を押し下げた。

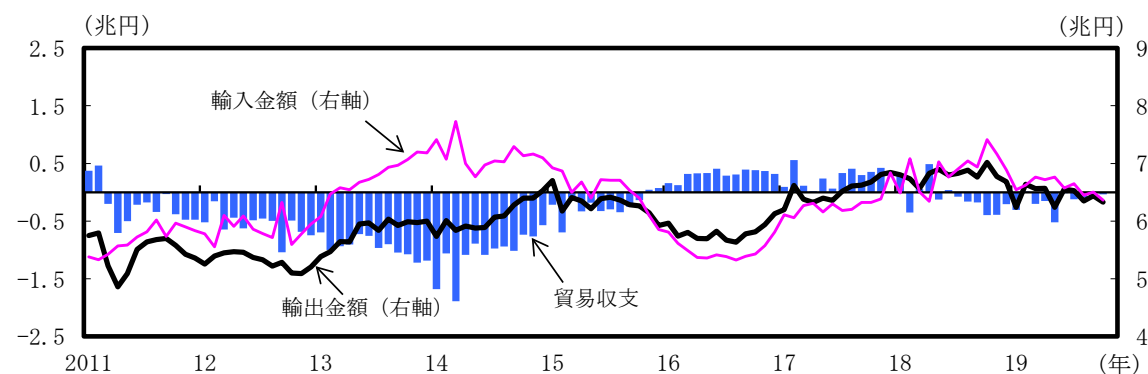
季節調整値で見ると、輸出金額は前月比▲1.7%と2ヶ月ぶりに減少した(図表2左)。また、輸入金額は同▲2.2%と2ヶ月ぶりに減少した。輸出の内訳を見ると、輸出数量(大和総研による季節調整値)は同+1.8%と増加したものの、輸出価格が同▲3.5%と低下した。輸出価格は8、9月は上昇していたものの、均せば横ばいで推移している。貿易収支は▲347億円と8ヶ月連続で赤字となった。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格(季節調整値)



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表3：輸出金額、輸入金額、貿易収支(季節調整値)



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】 これまで下支えしてきた EU 向けや米国向けに陰りが見られる

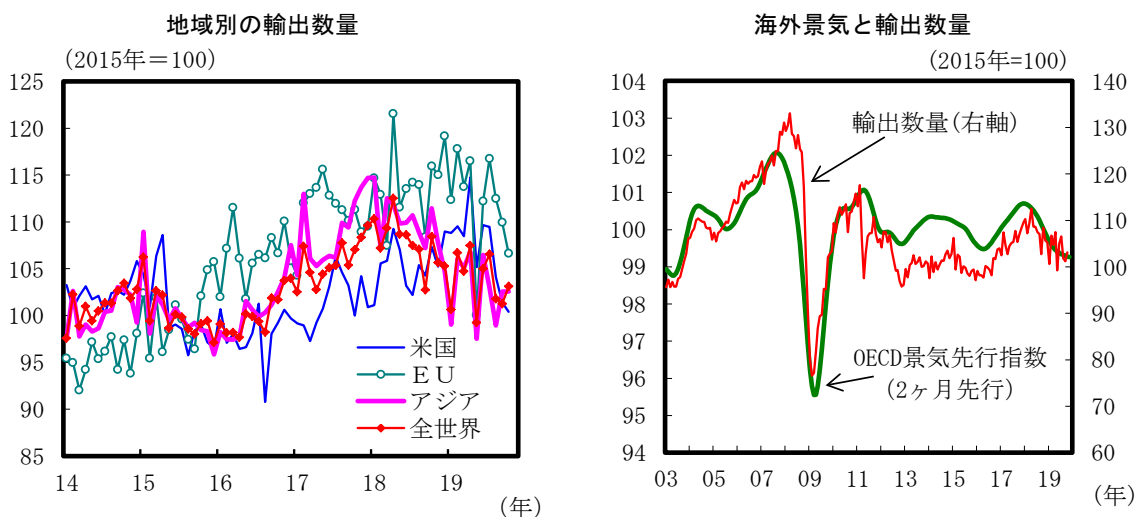
10月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+1.8%と3ヶ月ぶりに上昇した。輸出数量は振れを伴いながらも緩やかな低下基調にある。地域別に見ると、米国向け（同▲1.0%）、EU向け（同▲3.0%）が減少し、アジア向け（同+0.0%）は横ばいであった¹。これまで全体を下支えしていたEU向けや米国向けの輸出数量は足下で弱さが見られる。一方、アジア向けはこれまで軟調な推移が続いていたが、一部品目において下げ止まりの兆しが見られる。

米国向けは均すと横ばい圏で推移していたが、このところ弱含んでいる。概況品別に10月の動きを見ると、乗用車や自動車の部分品が減少に寄与した。乗用車は19年4月をピークに減少基調が続いている²。また、非鉄金属なども大幅に減少した。

EU向けは3ヶ月連続で減少した。2018年初以降、好調であったが、19年7月にピークアウトしている。単月の動きを見ると、原動機や建設用・鉱山用機械などが全体を押し下げた。また、これまで好調であった自動車の増加ペースが鈍化していることも全体の減少幅を拡大させた。

アジア向けは、鉄鋼や半導体等製造装置が減少したものの、半導体等電子部品や乗用車などが下支えした。総じて見ると、アジア向け輸出は中国経済の減速を背景に、低水準での推移が続いている。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

¹ 世界全体向けの輸出数量が上昇しているのに対して、内訳項目が上昇していないのは、個別にそれぞれ季節調整を行ったためである。10月の輸出数量（原系列）の前年比の前月差を見ると9月から低下しており、世界全体向けの季節調整値にはやや幅を持ってみる必要がある。

² 詳細は橋本政彦他「内需と外需の乖離は続くのか？」（「第203回日本経済予測」（2019年11月20日、大和総研レポート）の論点①）を参照。

【見通し】輸出数量は弱い動きから下げ止まりへ

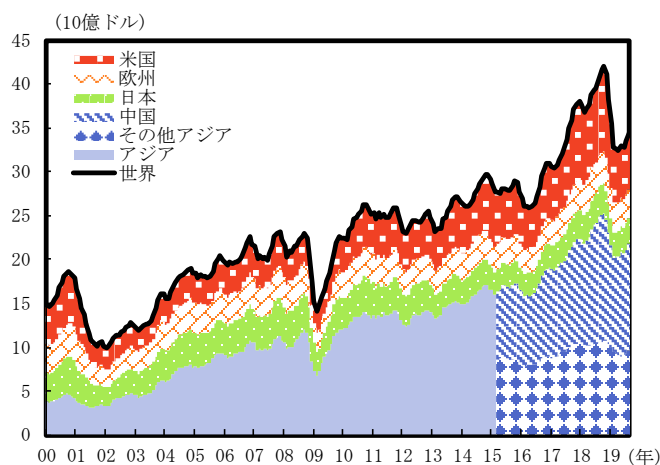
先行きの輸出数量は、地域ごとに濃淡はあるものの、総じてみると世界経済減速の影響を受けて力強さを欠く動きが続くとみている。ただし、これまでの減少基調から下げ止まりの兆しが見え始めている。

地域別に見ると、アジア向けは低水準の推移が続くも、これまでの減少基調から下げ止まるとみている。これらの地域への輸出は相対的に半導体等電子部品のウエイトが大きい。足下では半導体販売額が底入れしており（**図表 5**）、半導体等電子部品の輸出も増加傾向にある（**図表 6**）。グローバルな在庫調整が一巡していることから、今後も全体を下支えする要因となろう。加えて中国については、インフラ投資などのための地方政府特別債券の発行枠を 9 月までに使い切り、2020 年予算分の前倒し執行も決定された。潤沢な発行によって今後もインフラ投資が期待される。ただし、中国の公共投資が増加したとしても、日本の輸出への押し上げ効果は建設機械など一部の製品や業種に限られる可能性がある点には留意したい。

他方、欧州向けにおいては自動車輸出が全体を下支えするとみられるが、全体では減少基調が続くだろう。自動車に関しては、環境規制対応のための輸出が今後も期待される。他方、ドイツや英国は 2018 年半ばごろから景気減速が鮮明となっている。足下でもこの傾向は続いており、自動車以外の品目に関しては、弱い動きが続くとみられる。

米国向けは横ばい圏で推移するだろう。2018 年の米国経済は減税効果によって加速していたが、その影響は既に剥落し始めている。一方で個人消費は堅調であり、加えて FRB が金融緩和を実施したことで、減速は緩やかなものにとどまるとみている。また今後、財政出動が行われる可能性もある。

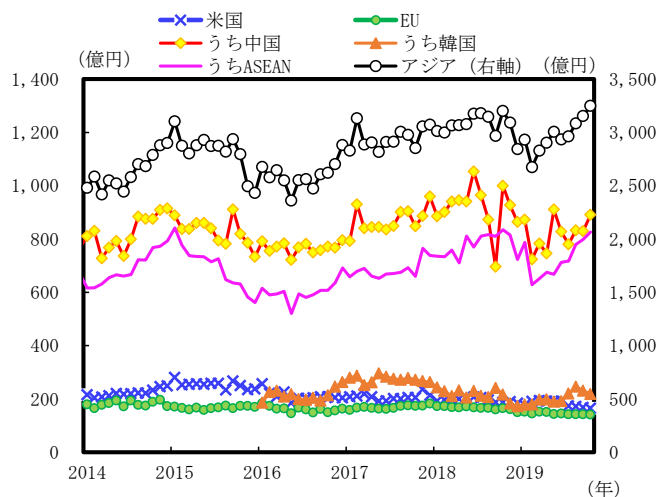
図表 5：世界の半導体販売額



(注) 中国のデータは 2015 年から、2014 年までのアジアは中国を含む、3 ヶ月移動平均。

(出所) SIA、Haver Analytics より大和総研作成

図表 6：半導体等電子部品の輸出（季節調整値）

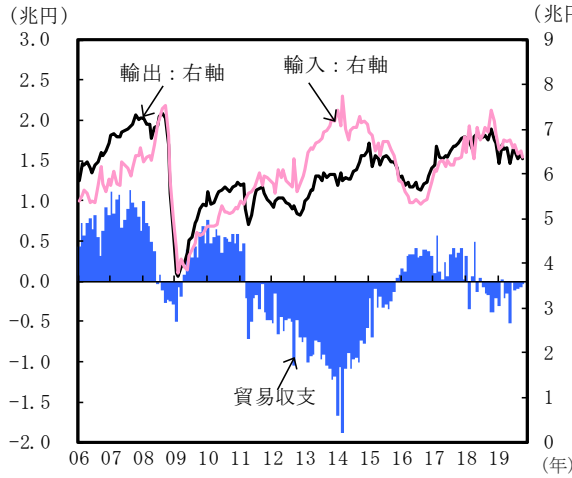


(注) 季節調整は大和総研による。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

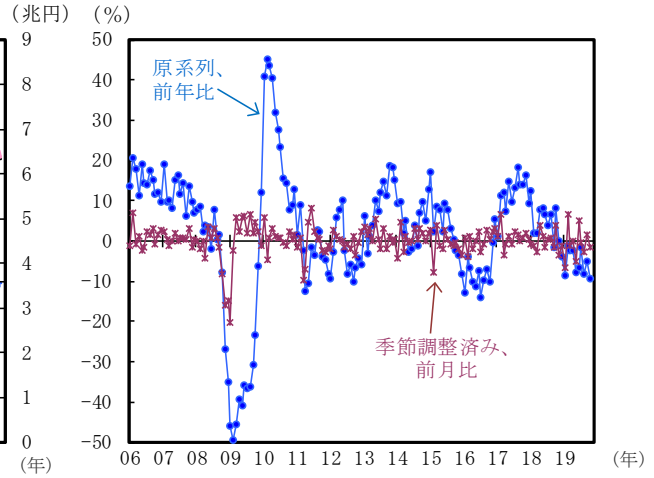
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

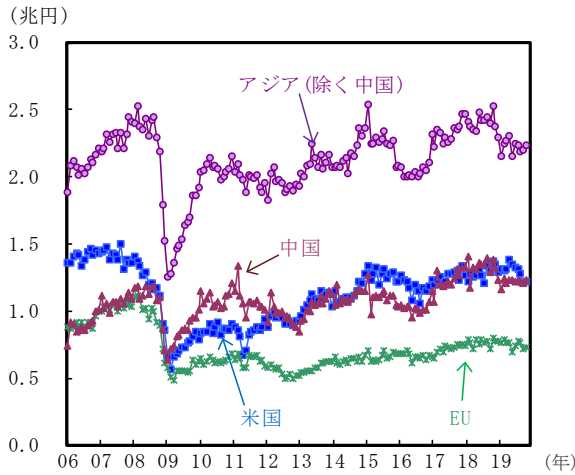


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

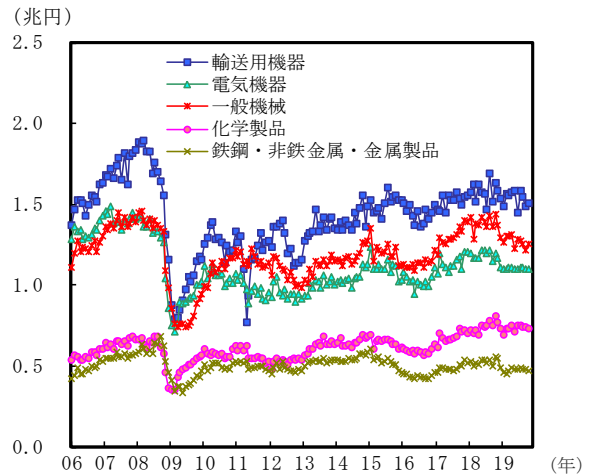


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

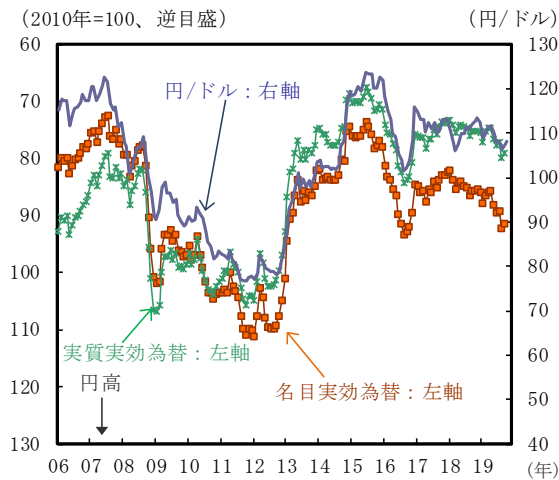


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

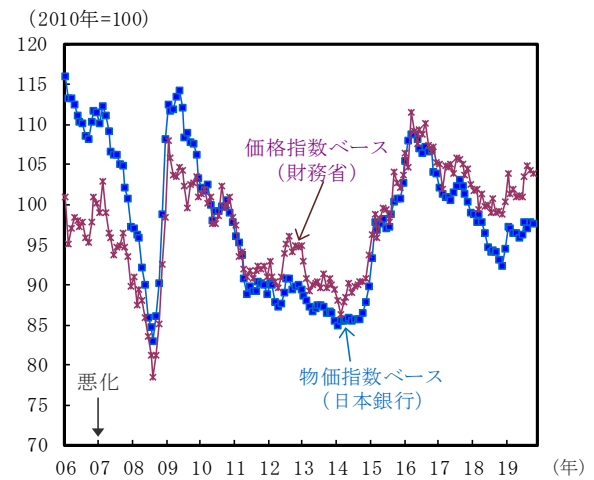


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.8	▲6.6	▲1.5	▲8.2	▲5.2	▲9.2	100.0	▲9.2
食料品	▲8.9	7.9	4.9	▲3.5	▲5.3	▲5.2	1.0	▲0.0
原料品	▲8.0	▲11.7	▲13.5	▲12.2	▲11.0	▲16.5	1.2	▲0.2
鉱物性燃料	20.7	7.1	0.2	▲6.2	▲16.9	14.1	1.7	0.2
化学製品	▲5.2	1.5	▲0.1	▲5.1	▲2.1	▲9.7	11.3	▲1.1
原料別製品	▲10.1	▲8.6	▲5.1	▲11.0	▲3.8	▲13.4	10.6	▲1.5
鉄鋼	▲8.7	▲11.6	▲4.1	▲13.6	▲0.4	▲16.7	3.8	▲0.7
非鉄金属	▲18.4	▲11.7	▲10.7	▲10.0	▲2.7	▲10.7	1.8	▲0.2
金属製品	▲6.9	▲8.3	▲6.4	▲8.5	▲9.0	▲13.7	1.5	▲0.2
一般機械	▲13.1	▲8.0	▲7.2	▲12.3	▲11.2	▲12.9	18.7	▲2.5
電気機器	▲9.9	▲9.2	▲7.3	▲8.1	▲4.7	▲8.3	18.0	▲1.5
半導体等電子部品	▲3.9	▲7.9	▲7.8	▲2.7	4.0	0.6	5.9	0.0
IC	0.5	▲8.0	▲7.1	▲0.5	9.1	3.6	4.3	0.1
映像機器	▲21.4	▲24.5	▲5.6	▲5.3	▲11.9			
映像記録・再生機器	▲23.5	▲32.8	▲12.1	▲8.2	▲14.8	▲8.8	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲22.2	36.0	▲12.7	▲10.5	▲15.1	▲19.3	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	▲11.0	▲11.9	▲9.0	▲14.5	▲12.7	▲13.6	2.5	▲0.4
輸送用機器	1.2	▲7.6	7.7	▲8.2	▲2.7	▲7.4	24.0	▲1.7
自動車	3.5	▲0.7	9.2	▲7.2	▲1.9	▲9.6	15.6	▲1.5
自動車の部分品	▲11.8	▲14.1	▲10.7	▲13.6	▲14.7	▲11.3	4.6	▲0.5
その他	▲14.5	▲5.9	2.0	▲2.0	▲2.3	▲6.3	13.5	▲0.8
科学光学機器	▲12.2	▲5.9	▲8.0	▲7.4	▲10.9	▲10.9	2.7	▲0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.3	4.9	8.4	▲4.4	▲7.9	▲11.4	100.0	▲11.4
食料品	▲2.4	10.1	11.8	▲5.3	0.9	4.9	0.8	0.0
原料品	▲5.6	4.7	16.1	▲22.7	28.4	▲8.8	0.5	▲0.0
鉱物性燃料	213.8	▲41.1	40.2	9.6	157.2	1397.4	1.2	1.0
化学製品	▲0.7	17.7	▲1.2	4.9	0.2	▲5.3	7.1	▲0.4
原料別製品	▲4.0	▲3.9	1.8	▲7.1	▲2.0	▲8.7	6.2	▲0.5
鉄鋼	▲22.6	▲18.6	12.3	▲2.9	13.3	▲19.7	1.2	▲0.3
非鉄金属	▲2.0	8.9	3.7	▲2.8	21.0	▲5.9	0.7	▲0.0
金属製品	8.7	2.8	▲5.5	▲7.9	▲11.8	▲3.9	1.6	▲0.1
一般機械	7.7	16.1	16.3	1.3	▲5.9	▲4.8	23.6	▲1.0
電気機器	▲7.6	▲5.8	▲1.2	▲8.8	▲7.7	▲15.9	12.8	▲2.2
半導体等電子部品	▲6.3	▲7.2	▲15.4	▲12.6	▲11.1	▲11.7	1.3	▲0.2
IC	▲12.2	▲9.1	▲14.2	▲15.1	▲16.5	▲10.9	0.6	▲0.1
映像機器	▲12.8	▲24.5	16.8	13.6	▲7.9			
映像記録・再生機器	▲6.8	▲37.5	7.7	7.5	▲11.6	▲9.7	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲4.3	349.1	▲15.3	55.1	▲7.5	▲26.1	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲3.0	▲0.0	5.3	▲3.5	▲10.2	▲13.1	1.4	▲0.2
輸送用機器	5.3	1.3	2.6	▲11.7	▲14.8	▲17.1	36.1	▲6.6
自動車	9.9	4.3	1.5	▲13.0	▲15.7	▲17.7	27.0	▲5.2
自動車の部分品	▲8.5	▲9.2	1.1	▲11.9	▲16.2	▲12.9	5.2	▲0.7
その他	▲0.6	9.6	36.6	9.0	▲0.8	▲13.8	11.7	▲1.7
科学光学機器	1.1	9.1	6.1	18.3	2.7	▲10.7	2.1	▲0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.1	▲6.7	2.2	▲1.3	▲0.5	▲8.4	100.0	▲8.4
食料品	10.1	34.4	6.3	8.9	23.9	▲13.6	0.4	▲0.1
原料品	40.9	▲9.2	▲11.0	0.2	▲14.2	▲7.3	0.8	▲0.1
鉱物性燃料	61.1	▲47.7	20.7	▲31.6	12.1	▲52.8	0.4	▲0.4
化学製品	▲11.2	2.6	▲10.4	▲3.8	5.8	0.2	9.2	0.0
原料別製品	▲17.1	▲6.7	▲15.7	▲5.2	▲6.0	▲14.6	5.9	▲0.9
鉄鋼	▲16.4	▲18.4	▲30.0	10.7	4.2	▲29.7	0.6	▲0.2
非鉄金属	▲29.1	6.0	▲31.9	▲13.6	▲9.5	▲10.9	0.9	▲0.1
金属製品	▲3.5	3.2	▲2.6	3.7	▲5.8	▲8.1	1.4	▲0.1
一般機械	▲5.2	▲9.5	▲7.9	▲12.4	▲15.1	▲20.3	21.2	▲4.9
電気機器	▲8.5	▲10.9	▲8.8	▲6.7	▲7.6	▲14.5	16.5	▲2.6
半導体等電子部品	▲17.0	▲14.3	▲14.5	▲14.7	▲11.4	▲14.0	1.9	▲0.3
IC	▲25.3	▲23.6	▲25.3	▲28.3	▲17.6	▲19.0	0.9	▲0.2
映像機器	▲0.2	▲31.7	▲15.0	▲10.6	▲10.3			
映像記録・再生機器	2.1	▲29.6	▲17.3	1.0	▲17.9	▲12.1	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲2.4	3.7	3.9	1.0	34.3	6.9	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲18.9	▲17.4	▲15.4	▲14.5	▲15.7	▲26.4	1.5	▲0.5
輸送用機器	▲3.5	▲12.2	34.6	0.9	21.3	5.8	28.4	1.4
自動車	3.5	21.0	50.4	10.3	41.5	12.8	19.0	2.0
自動車の部分品	▲8.2	▲2.4	2.2	▲2.6	▲4.9	▲5.2	5.8	▲0.3
その他	▲13.5	9.4	▲0.5	23.5	▲2.0	▲5.0	17.1	▲0.8
科学光学機器	▲12.5	2.7	▲0.7	7.0	▲4.1	▲15.3	3.2	▲0.5

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲12.1	▲8.2	▲8.3	▲10.9	▲7.8	▲11.2	100.0	▲11.2
食料品	▲9.3	6.1	3.2	▲3.2	▲8.4	▲6.2	1.3	▲0.1
原料品	▲12.6	▲13.3	▲17.4	▲12.4	▲15.0	▲19.2	1.9	▲0.4
鉱物性燃料	▲19.8	▲25.0	▲16.3	3.3	▲33.0	▲15.0	1.7	▲0.3
化学製品	▲4.6	▲1.3	1.0	▲7.3	▲4.1	▲12.0	15.5	▲1.9
原料別製品	▲10.7	▲10.0	▲9.1	▲13.9	▲7.4	▲15.1	13.4	▲2.1
鉄鋼	▲7.0	▲10.9	▲11.4	▲19.7	▲7.9	▲18.4	5.3	▲1.1
非鉄金属	▲19.0	▲14.5	▲10.4	▲12.0	▲7.3	▲13.6	2.7	▲0.4
金属製品	▲9.7	▲11.6	▲8.6	▲7.1	▲7.4	▲13.2	1.7	▲0.2
一般機械	▲21.5	▲14.5	▲13.8	▲16.8	▲12.9	▲13.0	18.3	▲2.4
電気機器	▲10.3	▲9.5	▲9.2	▲8.0	▲4.1	▲6.4	23.4	▲1.4
半導体等電子部品	▲2.7	▲7.5	▲6.8	▲1.6	5.9	1.7	9.9	0.1
I C	2.2	▲7.3	▲6.2	1.0	11.2	4.9	7.5	0.3
映像機器	▲35.4	▲26.1	▲23.8	▲25.6	▲22.2			
映像記録・再生機器	▲41.0	▲32.8	▲22.6	▲20.9	▲17.1	▲6.5	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲25.2	▲3.5	▲10.7	▲18.0	▲19.0	▲18.4	0.4	▲0.1
電気回路等の機器	▲11.4	▲13.1	▲11.9	▲16.2	▲13.1	▲13.1	3.6	▲0.5
輸送用機器	▲6.3	1.5	▲8.5	▲13.1	▲3.9	▲14.9	9.4	▲1.5
自動車	1.6	11.9	5.7	▲12.9	1.0	▲15.8	4.9	▲0.8
自動車の部分品	▲14.4	▲21.1	▲21.5	▲16.8	▲22.1	▲16.1	3.7	▲0.6
その他	▲12.8	▲7.6	▲6.2	▲8.6	▲8.5	▲7.8	15.0	▲1.1
科学光学機器	▲14.2	▲10.4	▲12.0	▲14.1	▲14.3	▲9.8	3.5	▲0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.7	▲10.1	▲9.3	▲12.1	▲6.7	▲10.3	100.0	▲10.3
食料品	▲0.3	24.8	42.3	▲15.5	28.0	16.7	0.9	0.1
原料品	▲29.2	▲28.1	▲52.9	▲43.5	▲45.3	▲52.4	1.4	▲1.3
鉱物性燃料	▲21.5	32.2	20.4	4.4	▲46.7	10.2	1.3	0.1
化学製品	▲0.0	▲3.5	5.7	▲5.7	4.3	▲6.6	17.7	▲1.1
原料別製品	▲10.4	▲18.2	▲4.5	▲11.6	▲4.5	▲8.1	11.4	▲0.9
鉄鋼	▲0.7	▲17.7	▲4.0	▲15.6	▲9.9	▲17.6	3.2	▲0.6
非鉄金属	▲17.1	▲30.0	▲1.8	▲10.7	10.9	9.4	2.8	0.2
金属製品	▲9.6	▲13.1	▲4.0	▲7.5	▲3.5	▲6.2	1.8	▲0.1
一般機械	▲17.1	▲17.8	▲17.8	▲20.2	▲18.0	▲13.3	21.4	▲2.9
電気機器	▲11.5	▲14.2	▲14.1	▲10.1	▲2.3	▲9.6	21.9	▲2.1
半導体等電子部品	▲3.4	▲21.3	▲19.0	▲4.6	19.3	▲11.2	7.2	▲0.8
I C	▲0.9	▲24.0	▲23.7	▲2.6	27.9	▲13.6	5.2	▲0.7
映像機器	▲35.7	▲29.4	▲26.9	▲24.7	▲22.4			
映像記録・再生機器	▲41.6	▲40.3	▲25.9	▲13.7	▲14.2	▲4.2	0.5	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲30.3	4.9	▲7.2	▲6.7	2.6	▲10.6	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	▲16.1	▲18.3	▲14.2	▲20.8	▲10.3	▲14.5	3.7	▲0.6
輸送用機器	5.7	5.5	▲4.8	▲15.3	▲10.7	▲14.4	10.4	▲1.6
自動車	46.1	78.7	31.4	▲0.1	16.4	▲7.4	5.5	▲0.4
自動車の部分品	▲19.7	▲30.5	▲35.0	▲27.9	▲31.6	▲21.1	4.6	▲1.1
その他	▲8.7	2.6	▲6.1	▲4.6	4.4	▲4.8	13.7	▲0.6
科学光学機器	▲18.3	▲4.6	▲8.7	▲17.9	▲10.6	▲12.6	5.0	▲0.6

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成